

2010年度化学史研究発表会（化学史学会年会）企画
エクスカージョンのご案内

江戸蘭医学の史跡をめぐる

（案内：首藤郁夫会員）

日時：2010年7月2日（金） 13:30集合 17:00頃解散

集合場所：JR常磐線「南千住」駅 改札口（西口）（改札口は1ヶ所のみ）

南千住駅には東京メトロ（地下鉄）日比谷線も平行しています。その北出口を出るとJR改札口に近い。東京メトロでお出でになる方もJR改札口の集合場所にいちどお集まりください。

コース：

- 南千住駅西口一（徒歩200m）→小塚原回向院（荒川区南千住5-33-13）
一（徒歩で戻り、東京メトロ日比谷線「南千住」駅乗車）→（同線「秋葉原」駅下車）
→（徒歩500m）→「お玉が池種痘所跡」（千代田区岩本町2丁目）
→（徒歩300m）→「伝馬町牢屋敷跡」―「石町時の鐘跡」（十思公園）
→（徒歩500m）→「長崎屋」跡
→（徒歩「日本銀行」「貨幣博物館」経由1km）→「東京」駅（解散）

- ◎小塚原回向院は、1771（明和8）年、杉田玄白、前野良沢、中川淳庵らが見学した人体解剖の行われた所。オランダの解剖学書の正確さに驚き、翌日から翻訳を始めて4年がかりで『解体新書』5巻を完成させた（参考：杉田玄白著『蘭学事始』）。回向院には吉田松陰、橋本左内ほかの墓がある。
- ◎お玉が池種痘所は江戸在住の蘭方医らが幕府に願い出て1858（安政5）年に設置した施設で、その後の西洋医学所に発展した。
- ◎伝馬町の牢屋ははじめ常盤橋門外にあり、慶長年間（1596-1615）この地に移ったとされている。1875（明治8）年5月落成した市ヶ谷監獄署に移り、更地となっていたが、1882（明治15年）以来、寺院や小学校の敷地となった。寺院が移った後、1930（昭和5）年7月十思公園となった。
- ◎長崎屋はオランダ商館長（カピタン）が江戸参府の際に宿泊した定宿。江戸の蘭学者たちは一行の滞在中に表敬および質問のために連日のように長崎屋を訪ねた。
- ◎石町に時の鐘が設置されたのは第2代将軍秀忠の時代。南は芝浜松町から北は本郷かねやすと新吉原、西は飯田町と麴町、東は浅草三吉町まで聞こえたという。一定範囲からは時報料金を徴収した。

ご注意：

- ・地下鉄乗車賃は各自ご負担ください。
- ・猛暑または雨天の可能性もありますので、各自ご注意ください。
- ・当日「行事参加者傷害保険」に加入していただくため、保険料1人100円を徴収いたします。保険の適用範囲は参加者の団体行動中における怪我（階段を踏み外したなど）だけで、病気などは適用外です。

連絡先：

内田正夫（理事） 〒195-8585 東京都町田市金井町2160 和光大学総合文化研究所
e-mail：uchidam@wako.ac.jp 携帯電話：090-9104-5963
首藤郁夫（会員） 〒183-0035 東京都府中市四谷3-55-14



集合場所：

JR常磐線南千住駅
改札口（1ヶ所）

東京メトロ（地下鉄）日
比谷線からは
北出口を出て50m



小塚原回向院



東京メトロ日比谷線
南千住駅



秋葉原駅まで乗車

上下二つの地図
は縮尺が異なり
ますのでご注意
ください



秋葉原駅



お玉が池種痘所跡



伝馬町牢屋敷跡
石町時の鐘跡
（十思公園）



長崎屋跡



日本銀行
貨幣博物館



東京駅（解散）